

9. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成24年度	607,982,846	-	370,213,887	0	0	370,213,887	237,768,959
平成25年度	608,894,061	-	210,255,138	0	0	210,255,138	398,638,923
平成26年度	549,465,448	-	17,486,305	0	0	17,486,305	531,979,143
平成27年度	-	6,657,893,000	5,737,234,952	337,664,221	0	6,074,899,173	582,993,827
計	1,766,342,355	6,657,893,000	6,335,190,282	337,664,221	0	6,672,854,503	1,751,380,852

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

①平成24年度交付分

(単位:円)

区分	金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	370,213,887
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	370,213,887
旧会計基準第81第3項による振替額	0	
合計	370,213,887	損益計算書に計上した費用の額:370,213,887 前払費用:34,887(自賠責保険料) 平成27年度の運営費交付金収益化額のうち、平成24年度分の運営費交付金債務使用額:370,179,000

②平成25年度交付分

(単位:円)

区分	金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	210,255,138
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	210,255,138
旧会計基準第81第3項による振替額	0	
合計	210,255,138	損益計算書に計上した費用の額:210,255,138 前払費用:255,138(自賠責保険料) 平成27年度の運営費交付金収益化額のうち、平成25年度分の運営費交付金債務使用額:210,000,000

③平成26年度交付分

(単位:円)

区 分	金 額	内 訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	17,486,305
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	17,486,305
旧会計基準第81第3項による振替額	0	
合 計	17,486,305	

④平成27年度交付分

(単位:円)

区 分	金 額	内 訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,737,234,952
	資産見返運営費交付金	337,664,221
	資本剰余金	0
	計	6,074,899,173
旧会計基準第81第3項による振替額	0	
合 計	0	

①費用進行基準を採用した業務:全ての業務
 ②当該業務に係る損益等
 ア) 損益計算書に計上した費用の額:12,243,892,082
 (貸倒引当金繰入49,351,553、その他4,413,456及び臨時損失7,097,905は運営費交付金収益の計算外)
 (役員人件費:3,190,876,578、減価償却費:304,446,859、諸謝金:67,725,721、旅費交通費:127,149,312、
 消耗品費:167,102,971、印刷製本費:222,495,266、通信運搬費:120,789,656、賃借料:713,334,692、
 業務委託費:1,085,695,251、光熱水料:31,717,480、雑給:355,298,878、修繕費:3,092,256、
 療護業務委託費:2,660,460,450、介護料支給費:3,109,372,851、福利厚生費:4,438,244、消費税等:29,867,400、
 支払利息:3,368,204、その他:46,660,013)
 イ) ア)のうち、前中期目標期間繰越積立金取崩額相当額:9,468
 (前払費用(自賠責保険料):9,468)
 ウ) 自己収入に係る収益計上額:2,521,106,177
 (運行管理者等指導講習手数料収入:767,588,580、適性診断手数料収入:1,680,379,677、業務雑収入:57,409,656、
 有価証券利息:542,466、受取利息:13,071、その他雑益:15,172,727)
 ③運営費交付金の振替額の積算根拠
 費用 12,243,892,082 - 減価償却費 304,446,859 - 介護料支給業務補助金収益 3,109,372,851
 - 支払利息 3,368,204 + 支払リース料 29,601,759 - 前中期目標期間繰越積立金取崩額相当額 9,468
 - 収益計上額 2,521,106,177 - 過年度分運営費交付金収益(前払費用及びたな卸資産) 17,776,330
 - 平成24年度分運営費交付金債務使用額 370,179,000 - 平成25年度分運営費交付金債務使用額 210,000,000
 = 5,737,234,952
 ④資産見返運営費交付金:337,664,221
 (療護センター建物:39,906,000、療護センター機器:79,805,360、業務用器具備品:42,794,779、業務用車両:6,452,902、
 業務用ソフトウェア等:168,705,180)
 ⑤資本剰余金:0

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

交付年度	運営費交付金債務残高	残高の発生理由及び収益化等の計画
平成24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0 －（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0 －（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	237,768,959 ○ すべての業務で費用進行基準を採用している。 ○ 運営費交付金債務残高の発生理由は、自己収入の増加及び経費の削減等によるものである。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○ 繰り越した運営費交付金債務残高のうち5,789,000については、新たな委託病床を設置するため、平成28年度において収益化する予定である。
	計	237,768,959
平成25年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0 －（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0 －（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	398,638,923 ○ すべての業務で費用進行基準を採用している。 ○ 運営費交付金債務残高の発生理由は、自己収入の増加及び経費の削減等によるものである。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○ 繰り越した運営費交付金債務残高のうち27,500,000については、新たな委託病床を設置するため、平成28年度において収益化する予定である。 ○ また、自己収入の増加に伴い発生した163,170,000については、平成28年度において収益化する予定である。
	計	398,638,923
平成26年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0 －（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0 －（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	531,979,143 ○ すべての業務で費用進行基準を採用している。 ○ 運営費交付金債務残高の発生理由は、自己収入の増加及び経費の削減等によるものである。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○ 繰り越した運営費交付金債務残高のうち33,000,000については、新たな委託病床を設置するため、平成28年度において収益化する予定である。 ○ また、自己収入の増加及び経費の削減等に伴い発生した179,830,000については、平成28年度において収益化する予定である。
	計	531,979,143
平成27年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0 －（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0 －（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	582,993,827 ○ すべての業務で費用進行基準を採用している。 ○ 運営費交付金債務残高の発生理由は、自己収入の増加及び経費の削減等によるものである。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○ 繰り越した運営費交付金債務残高のうち65,711,000については、新たな委託病床を設置するため、平成28年度において収益化する予定である。
	計	582,993,827